

Okayama Research Park Incubation Center

ORIC NEWS

翔飛

ひし
よう

入居企業紹介 株式会社スーパーワークス



そりゃ、PlaceOnだからね

物件情報の管理って結構、簡単。

PlaceOn 情報共有・管理ツール

物件情報やファイル、メールやLINEのやりとりも
操作を覚える必要もないほど簡単なPlaceOnで一元管理。

だって、ネットモケイだもん。

今日の打ち合わせはうまくいく気がする。

3DCG 建築模型制作サービス

ネットモケイ 3Dモデルの外注制作

ボタンを押せばいつもの図面から3Dモデルを作成して
お届けするネットモケイ。



株式会社スーパーワークスは建設業向けに特化したIT(情報技術)サービスを手掛けており、建設業界での「施主への提案」と「物件情報管理」に関する課題解決を目指しています。施主への提案に対しては、ブラウザ上で表示可能な3D物件モデルを提供する「ネットモケイ」、物件情報管理に対してはクラウド型の住宅建築情報管理ツール「Place On」を提供しています。(同社の詳細な紹介はP.2)

同社のネットモケイは、右QRコード(同社Place On特設サイト)内にて実際にブラウザ上で体感して頂くことができますので、是非お試しください!



— 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

- 入居企業紹介 (P.2 (株)スーパーワークス)
- 交流会・セミナー活動 (P.3 2018年10月~12月)
- 展示会・岡山県内イベント情報 (P.4)

No.63 (2019.1)

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター
〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303
TEL：086-286-9116 FAX：086-286-9117 E:mail：info@oric.ne.jp
【公式HP】 <http://www.oric.ne.jp>



株式会社スーパーワークスは平成27年12月に会社設立、平成28年4月よりORICへ入居中のスタートアップ企業です。当社は建設業向けに特化したIT（情報技術）サービスを手掛け、クラウド型の住宅建築情報の管理ツールを開発、主に大規模なシステムを持たない中小工務店向けに全国展開を目指しています。

【住宅や一般建設での建築計画の二つの課題】

経営者である岩城祐介社長は、10年間の建築設計の仕事の中で大きく二つの課題を感じていました。

一つは「施主への提案」の問題。これは建築計画の打ち合わせを図面で行うため、きちんとした建物計画のイメージを施主に提供できていないということ。そのためイメージを理解するために打ち合わせの時間が増えたり、認識の齟齬からトラブルに繋がったりしていました。もう一つは工事業者が「工事の物件情報を管理できていない」という問題。これは建設工事では計画段階から完成までが長期間にわたり、関係者も多く、業者と施主、協力業者の間で電話やメール、LINEなどのチャンネルで大量の情報がやりとりされる現状があり、それらを一元化し管理できていない状況が数多く発生していました。

そこで、これらの課題を解決し、施主も業者も安心して建築できる環境を提供したいと考え起業、会社設立に至る。

【二つのソリューションとその特徴】

当社は「施主への提案」という課題に対しては、「ネットモケイ」というサービスを、「物件情報の管理」に対しては、「PlaceOn（プレイスオン）」というサービスを提供しています。

サービスに共通するのは「簡単で、新しい操作を極力覚える必要がない」ということ。業務効率を改善するツールの習得が負担になっては意味がありません。市場には提案のためのツールや情報管理ツールもあるが、そのいずれも高度な技術習得がハードルとなっています。当社はそういったツールに興味はあるが導入に至らない業者に対し、業界を知る建築士が業務で本当に使えるサービスとして開発しています。

【ネットモケイの特徴】

3DCG 建築模型作成サービス
ネットモケイ

図面に不慣れな施主も一目でプランが理解できる3DCGを外注制作するサービスがネットモケイです。従来との違いは、当社が建設業者から図面を預かり3Dモデルを制作。その3Dモデルは独自のクラウドで提供し、PC・スマホ・タブレットのブラウザ上でソフト不要で表示できるようにすることで誰でも簡単に3Dモデルを閲覧操作できます。また、データの制作も弊社が行うため建設業者は操作を覚える必要もなく、今までの仕事のやり方で手軽に3Dプレゼン環境を導入できます。メリットは「打ち合わせ回数の半減」「資料制作の時間とコストの削減」「施主に安心してもらえる」ということです。

【プレイスオンの特徴】

物件情報共有・管理ツール
PlaceOn

ITツールに不慣れな建設業者の方でも簡単に使えるよう、機能も入力項目も本当に必要なものに絞り込み、クラウド上に構築する物件情報ページはWebページのように全て1ページにまとめ、スクロールすれば必ず必要な情報が探せる。施主や協力業者とのLINEでの日常的なやりとりも該当する物件ページに自動で保存する機能など、手をかけずに情報が自動的に集まる仕組みでサービスを利用する負荷を極力減らしています。また集めた情報を施主・協力業者と共有することでやりとりの量を削減し、またその履歴もきちんとした管理ができます。ネットモケイとも連携することで制作依頼や3Dモデルの表示や管理も簡単に行っています。

【今後の予定や将来の展望】

まずは岡山を中心にサービス提供を行い、3年後には全国への展開とプレイスオン導入企業230社・売上2億円を目指します。ITを駆使してニーズを取込み、成長につなげていきたいと考えています。

SUPERWORKS Inc.
株式会社スーパーワークス

HEAD OFFICE
岡山市南区新保1142-1 〒700-0945

ORIC BRANCH
岡山市北区芳賀5303 ORIC 211 〒701-1221

T: 086-201-0810
F: 086-221-0039

E: info@superworks-inc.com
H: http://superworks-inc.com

交流会・セミナー活動

■BBQ 交流会 ■プレインキュベーションセミナー (平成 30 年 10 月)



10 月 11 日、ORIC 入居企業同士の交流会を実施しました。当日は ORIC 関連企業 15 社と県内支援機関の方々のご参加があり、交流を深めて頂きました(総勢 51 名)。平成 30 年度より、交流会に関しても ORIC 入居企業同士の交流会は勿論ですが、入居企業者様に対しては外部企業様との交流も出来る交流会を一つの課題として企画・運営を試みております。起業家の方については、新しい技術開発やアイデアの創出は勿論ですが、「各種方面へのネットワークを拡大させること」も大事であり、これらのネットワークを通じて、事業化に向けた意見交換や協業等での事業促進化等も期待されます。ORIC は今後も入居企業様に対して、ネットワーク拡大の場を提供していくことを行う予定です。

また、10 月 27 日には(公財)岡山県産業振興財団様主催の「プレインキュベーションセミナー」が開催され、岡山県下の起業家の方々に対して ORIC の施設概要説明並びに支援体制について説明をさせて頂きました。



■商標を考えるセミナー (平成 30 年 11 月)



11 月 2 日、岡山商工会議所にて中国経済産業局・知的財産室・商標審査官・清棲様に「商標制度」についてご講演頂きました。特許制度、実用新案制度、意匠制度の概要に加え、商標に関する基本的な知識や考え方、商標審査における流れや企業が知財戦略に取り組む重要性について、具体例を含めてご説明頂きました。自社の技術を如何にして守っていくかという知財戦略は起業家の方々には是非学んで頂きたい分野だと考えられます。ORIC では今後も知財に関する様々なイベントを企画して参りますので、是非ご興味のある方はご連絡を！(最新情報は ORIC HP 等に掲載致します <http://www.oric.ne.jp/>)

■KMS メディカルアーク 2019 with MTO 説明会 (平成 30 年 12 月)



12 月 20 日、ORIC 交流サロンにて「KMS メディカルアーク 2019 with MTO に関する説明会」を開催致しました。当日は川崎医科大学様より講師をお招きし、川崎医科大学・附属病院、川崎医療福祉大学での医療現場ニーズや過去のニーズ進展事例などをご説明頂きました。

一般的に、医工連携は医療機器製造業許可等の許認可が必要であり、販路開拓の面も含めて新しい参入には高い障壁があると認識されています。今回の KMS メディカルアーク 2019 with MTO につきましても、前述の課題に対して、ORIC は下記の様な観点から段階的に医工連携を広めていく協力をさせて頂ければと考えています。

- ① モノづくり企業に対して、「医療現場のニーズを把握出来る機会」を提供すること
- ② 産学官だけではなく、「産学官金」での取組みを図る体制構築への寄与

上記の 2 点に関しては、「医療製造業許可を保有していないモノづくり企業」の技術により現場ニーズの解決を図り、「モノづくり企業と医療機関の関係性を作るきっかけ」を提供していくことと、今までは開発資金等について助成金・補助金をベースで取り組んでいた為に医療機関と企業間でのスケジュール調整が難しいという意見もあり、「開発資金の対応と、新しい製品の販路支援」を金融機関にサポート協力を頂ける体制を構築していくことで解決を図るという意図があります。これらによって、モノづくり企業に対しては「新しい製品化を検討するきっかけ」を、医療機関に対しては「現場ニーズの課題解決」といったメリットを提供させて頂けるものと考えております。

展示会出展

■ビジネスチャンス発掘フェア 2018 出展

11月28、29日、ORIC 協力企業である(株)京都リサーチパーク様からのご招待で、マイドームおおさかで開催された「ビジネスチャンス発掘フェア 2018」に ORIC 入居企業の(株)ジェネスラボ、(株)白獅子、(株)J&C カンパニーの3社が出展をしました。ORIC の IM も1名参加させて頂き、ORIC 入居企業の出展 PR を手伝わせて頂くことや、関西圏内の企業様方と各種情報交換をさせて頂きました。



後日、入居企業様へ当日の展示会の結果についてお話を伺ったところ、各社とも1日あたり平均で約30社程度の商談・面談が出来たとのことで2日間通じて60件程度の面談が出来たとのことでした。引き続き ORIC でも県内外の展示会出展斡旋を行って参りたいと思っております。

岡山県内イベント情報

■岡山テックプランター



2018年11月17日、(株)リバネス様・(株)中国銀行様・小橋工業(株)様を中心として、「岡山テックプランター」が開催されました。当該イベントは岡山県下では初の取り組みであり、地域発の技術をベースとした新規事業の創出とベンチャー育成・支援により、大学・研究機関等から生まれる研究成果が、自立かつ継続的に社会で実装され地域の産業を育む、新たなエコシステム構築を進めるプログラムとなっています。

岡山テックプランター当日は、ORIC 入居企業からは(株)ナノ・キューブ・ジャパンと OB 化研、ウィンゴテクノロジー(株)が登壇。当日登壇された皆様それぞれが「事業に対する熱い思い」をピッチ形式で発表され、当日の懇親会で岡山テックプランターに参加された方々と積極的に交流を深めていらっしゃいました。後日、参加企業様からの声として「技術的な相談が早い」「各種方面とのネットワークが広がりそう」「事業の促進化が期待出来る」といった意見を頂きました。

■岡山イノベーションコンテスト 2018

11月24日に開催された「岡山イノベーションコンテスト 2018」に ORIC 入居企業として(株)ミスターサービス、(株)KCB プランニングがファイナリストとして登壇。ビジネスプラン部門、ビジネス部門でファイナリスト計15者によるプレゼンテーションが行われた中で、(株)KCB プランニングが見事ビジネス部門で大賞を受賞されました。本当におめでとうございます！



また、当日の審査員の方のお話で、「岡山イノベーションコンテストは通過点であり、これからが大事」というお話もございました。ORIC も県内支援機関の一機関として、当該コンテスト参加者は勿論、岡山県下で新しい事業を試みられる企業様に対して、少しでもお役に立てるよう精進して参りたいと思います。